

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和2年度 第1回高砂市子ども・子育て・若者会議
開催日時	令和2年8月24日(月) 18:30~20:00
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	こども未来部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 高砂市子ども・子育て・若者支援プランの進捗状況報告について (2) その他
出席者	委員18名(欠席2名)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	<p>みなさんこんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。開会に先立ちまして、本日の会議資料の確認をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【 配布資料の確認 】</p> <p>1 開 会</p>
事務局	<p>それでは定刻となりましたので、これより令和2年度第1回、子ども・子育て・若者会議を開催いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただきます。なお、本日の傍聴者はございません。宜しく願い申し上げます。</p>
事務局	<p>2 委嘱式</p> <p>それでは子ども・子育て・若者会議の委員の委嘱を行います。時間の関係上申し訳ありませんが、市長より、代表の委員に交付させていただきます。宜しく願い致します。</p>

事務局	<p>【 市長から代表の委員へ委嘱 】</p> <p>ありがとうございました。その他の委員の方には、失礼ではございますが、机上に委嘱状を置いております。宜しく願い致します。</p> <p>それでは開会に当たりまして、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
市 長	<p>3 市長あいさつ</p> <p>こんばんは。失礼いたします。平素より本市の児童福祉行政並びに子ども・若者育成格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、本日はお忙しい中、令和2年度第1回子ども・子育て・若者会議にご出席いただき誠にありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>高砂市子ども・子育て・若者支援プランでは、「子どもは地域・社会の宝である」という認識のもと、高砂市の子ども一人ひとりの成長を地域社会で支え、地域の活力として育まれていくよう、「子どもの健やかな成長と若者の自立を支え、安心して暮らせるまちをめざすこと」を基本理念としております。</p> <p>その中で子育て支援におきましては、従来から継続している待機児童ゼロの堅持に努めるとともに、令和元年度から、幼児教育・保育の無償化、副食費の無償化事業を継続して実施するなど、子育て環境や質の高い教育・保育の充実に努めております。また、若者支援におきましても、相談支援及び就労支援の体制の充実を図るとともに関係団体と連携することにより、若者に自立の機会と活躍の場を提供し、若者の成長につながる社会環境の整備に努めております。</p> <p>この度、新たな11名を含む委員の皆さまに委嘱させていただきました。本日、委員の皆さまには、本市の子ども・子育て支援及び若者支援に関する施策を推進するため、限られた時間ではございますが、会議の中で様々なお立場から幅広い、忌憚のないご意見をいただくことをお願いし、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>市長、ありがとうございました。引き続きまして、委員の方々の自己紹介をお願い致します。</p>

	<p>4 委員紹介</p> <p>【 出席委員の紹介と挨拶 】</p>
事務局	<p>ありがとうございました。また、本日欠席委員が2名となります。宜しく願いいたします。次に、高砂市の出席者の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>【 事務局の紹介と挨拶 】</p>
事務局	<p>5 委員長、副委員長の選出</p> <p>続きまして、子ども・子育て・若者会議の委員長・副委員長を選出します。</p> <p>【 会議条例第5条第1項により、委員長及び副委員長は、「委員の互選」となっているため、委員長1名、副委員長2名の選出を事務局から提案し、異議なしにより承認 】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、就任されました子ども・子育て・若者会議の委員長、副委員長から一言ずつご挨拶をお願いいたします。</p> <p>【 委員長、副委員長挨拶 】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは議題に入る前に、本日委員20名のうち18名の委員に出席していただいております。出席者が過半数となりましたので、「高砂市子ども・子育て・若者会議条例」第6条第2項により会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>これより、会議の進行は委員長をお願いいたします。これまでの進行にご協力をいただきましてありがとうございました。それでは、委員長宜しく願いいたします。</p>
委員長	<p>6 部会の設置について</p> <p>それでは早速ですが、会議条例第7条により、子ども・子育て部会と若者部会を設置いたします。部会の振り分けについては、事前配布しております資料①をご覧ください。</p>

<p>委員長</p>	<p>7 部会長、副部会長の選出</p> <p>引き続きまして、部会長・副部会長の選出についてです。</p> <p>【 会議条例第7条第3項により、部会長は委員の互選となっているため、子ども・子育て部会の部会長・副部会長、若者部会の部会長・副部会長の選出を委員長から提案し、異議なしにより承認 】</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>子ども・子育て部会、若者部会については、今年度それぞれ1回ずつ開催を予定しておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、議題に入る前に、「子ども・子育て・若者支援プラン」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【 事務局より高砂市子ども・子育て・若者支援プランと資料②に基づいて説明 】</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>議題（1）「子ども・子育て・若者支援プランの進捗状況報告について」を事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>8 議題</p> <p>(1) 子ども・子育て・若者支援プランの進捗状況報告について</p> <p>【 事務局より、資料③-1、③-2、③-3、④、参考資料②に基づいて説明 】</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>参考資料②計画の主な進捗状況、子ども・子育て支援事業の「障害児通所支援等の支援」のS評価の根拠と言いますか、もう少しお聞きしたい。というのも、数は増えてもその質は評価されているのかどうか。発達障害や、困っている子どもさんは確かに増えており、施設が乱立しているようにも感じています。姫路にもあり、高砂にも加古川にもある、と。高砂市の施設の利用数なのか、高砂市民が他市の施設を利用した件数も増</p>

<p>事務局</p>	<p>えているのか、S評価の根拠と数の内訳を教えてください。</p> <p>「障害児通所支援」につきましては、社会福祉法人ではなく営利法人が数多く参入しており、委員が仰った通り、事業所が活立しているようにも見える状況になっています。ただ、その利用は保護者にとって「障害者手帳」の取得が要件になっていないこと、学習支援の側面ですとか、言語相談に特化した内容ですとか、保護者の方が支援の内容をカスタマイズするように、選びやすい状態になっていること、利用者負担が何回利用しても月4,600円で打ち止めになる家庭が大部分であることから、皆さんが数多く利用を希望され、市が定める支給決定日数いっぱいまで利用される方が多くいらっしゃるため、支給件数が年々増加している状態です。事業所の支援内容については、兵庫県が事業所指定の指定権者であり、一定の支援を行うと評価して事業所指定を行っていますので、高砂市としてその支援の内容を検討するような事態はないのですけれども、例えば発達障害の方に特化した支援を行っています、と謳う事業所もあり、それがたまたま遠方であっても高砂市の方が神戸や尼崎、姫路の事業所にお子さんを連れて通所されているような状況です。件数の中に高砂市内の事業所がどれだけ含まれているかということになると、もしかしたら市外の事業所を利用されている方の方が多い可能性もあります。保護者の方が自由にカスタマイズされているような状況で、福祉の分野で利用に制限をかけたり、若しくは実態を調査したりということとはできない状態です。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。県が管理する事業で、市には情報が入ってこないということですね。小児科医会の中でも実態が分からないと言われていました。施設は必ず医療機関を指定して、施設を利用する子どもたちに何かあれば相談するという契約を結ぶのですけれども、それは開設当初の1回だけでそれから全然連絡がないと。例えば保育園、幼稚園であれば嘱託医として園に行き行ってそれに対する報酬もありますけれども、その辺も何もない。小児科医会としては、本当にきちっとしたことをしているかどうか分からないと。利用者は多いのですけれども、内容が担保されているのかどうか、そこを市としてある程度調べるように、踏み込んでやっていただけたらなと。内容を危惧しておりますので、件数だけではなく内容についても調査していただけたらなと思います。また、検討を宜しくお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>

委員	<p>「遊びの場の充実」というところで、高砂市には「市ノ池公園」という立派な施設がありますが、何分市の中心地から離れております。駐車場も少し狭く、良い施設ですが使い勝手が悪いような印象があります。毎年のように公園のような遊び場が少ないということであっていますが、米田西幼稚園跡地にある北部子育て支援センターが曾根に移るとい情報がありますが、その跡地に遊び場が作れないのか、市の土地かどうかは分かりませんが、若しくは北部子育て支援センターをそのままにして、新しくできる曾根に公園ができないのか、と思ったものですから、何か計画がありましたら教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>公園に関しては従来から検討課題といたしますか、遊び場が少ないという意見をいただいていることは承知しております。北部子育て支援センターでございますが、令和6年度に曾根地区に移転することが決まっております。施設自体の老朽化が進んでおり、ゆくゆくは廃止する方向で検討しております。ただ、今学童保育が使用しておりますので、そのことも含めて今後検討してまいります。曾根地区で建設を予定しております子育て支援センターの方で広場を設けまして、子育て支援センターを利用する子ども達、それ以外の子ども達も利用できるよう考えております。</p>
委員長	<p>幼稚園の跡地というのは、どのようなことでしょうか。</p>
事務局	<p>北部子育て支援センターが旧米田西幼稚園の跡地を使用しておりまして、老朽化が進んでいることから廃止の方向で進めております。</p>
委員	<p>曾根地区の広場を作っていただけるといお話でしたが、年齢制限はあるのでしょうか。子育て支援センターの利用では、小学生以上になると入れないので、上の子と一緒に連れていくことができないという状況があります。特に夏は屋外では厳しく、親としては一緒に連れていける場を希望しております。</p>
事務局	<p>曾根地区に予定しております子育て支援センターは、地域交流センターとの複合施設になっております。地域交流センターは年齢制限がございません。予定の段階ですが、その中に学習スペースを設けたり、図書を置くことを検討しております。広場も地域の方が自由に利用していただくという設計で検討しております。</p>

委員長	公園でボール遊びができないというような記事を読んだりしますけれども、広場では遊びの制限はあるのでしょうか。
事務局	小さな子ども達も利用することから、制限も考えていく必要があるかもしれません。それもこれから検討してまいります。
委員長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
委員	令和2年度の取組・方向性についてですが、学童保育事業も令和2年度からきちっと整備していただけるということはわかるのですが、コロナの影響で子どもの密になる状態を避けようという話になってきている中で、学童保育は学校の教室と比べると元々密になる状態が生じていたのではないかと思います。従来の定員数のままでよい、とはできない状況になっているのではないかと気がなりましたので、密になることを避ける定員で整備が進んでいるのか、今後の方向性をお聞かせ願えたらと思います。
事務局	現在のところ専用面積を広くとって、ということは決まっておりません。ただ、実施していく中で市が事業者にお願いしておりましたのが、少しでも広くということで協力していただき、保護者の方にもできる限りの自粛をお願いしまして、お預かりする子どもの数を減らすことで、安全な距離をとることができるよう図りました。今後のことはまだ検討できておらず、現在の専用面積のままで定員を設定しているところでございます。
委員	急には難しいと思いますし、予算のこともあるでしょうが、子どもに安全な環境を提供するというので、必要最低限変えていかねければならないところかと思いますので、よろしくをお願いします。
委員	補足ですが、手洗い消毒、おやつを食べる際にはできるだけ前を向いて。それから室内ではマスク、外で遊ぶときは外しても良いという状態。そして面積の関係ですが、3月4月のコロナの影響が最も大きかった時期は保護者の方に自粛をいただいて、学校にも協力していただいて、1部屋に30人以上入らないようにしました。今の状況ですが、本来の定員数で部屋を確保していただいているのですが、これだけ長い期間自粛を

	<p>していたら、家で子どもを看れる、学童に行かなくても大丈夫という保護者も出てきました。この2カ月で100人近くお辞めになって、そこまで「密」という状態でもない感じになっています。</p>
委員	<p>私は京都市に住んでいるのですけれども、京都市では学童と学校が子どもを預かってくれるということがありました。実際、自粛が長くなって学童で預かるというのは難しいと思いますので、学校の方で子どもを預かるということはされていたのでしょうか。</p> <p>家で看れます、という家庭がある反面、特にひとり親など先が見えない中でどこまで自粛ができるのかという問題もあったと思います。学校との連携はあったのでしょうか。</p>
事務局	<p>学校の方で4月5月の臨時休業中には、先生方の協力を得て、小学校で児童を預かっておりました。初めのうちはコロナへの不安から、どちらかというの家で看たいという保護者が多かったのですが、後半になると徐々に増えてきて、学校の方も子どもたちの安全確保、学力保障についても並行してやっていきたいということで、積極的にしてくださる校長先生もいらっしゃって、子ども達を預かっていくという体制は整いました。</p>
委員	<p>市として、学校が子どもを預かるということを決められたということですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、続きまして資料④について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【 事務局から資料④に基づいて説明 】</p>
委員長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします</p>
委員	<p>9頁、4-9病児保育事業ですが、こばやし小児科としてすくすくひろばを運営しております。マルの2つ目ですが、病児保育所への送迎サービスについては、令和元年度</p>

	<p>で実績1ということですが、この送迎サービスと言うのはお母さんから依頼があった時、急に園へ迎えに行けない時に、病児保育室の方からタクシーで園へ行って、そのまま子どもさんを連れて小児科で受診し、病児保育室へ入室するというサービスになっております。何年か前から実施しているのですけれども、大体1年に1回ぐらいなんです。タクシー代が保護者負担であること、個人的にはここがネックになっているのではないかと思います。すすくひろばは、ここには出ておりませんが加古川市からも委託を受けております。加古川市も昨年度から送迎サービスを始めております。送迎サービスと言うのは、看護師を市から派遣している民間保育園、若しくは保育士が、園の車かタクシーで連れていくと。そしてこれは無料なんです。ただ1年ちょっとになりますけれども、利用者はゼロです。ですから、ニーズがどの程度あるのか分かりませんが、もしも送迎サービスを高砂市が「ウリ」として充実させていくのであれば、是非ともタクシー代の援助、若しくは市町村によっては市の公用車を使って市のスタッフが送迎するという。事故のことがありますので、タクシーの方が良いかとは思いますが、利用者負担を無料にさせていただいて、利用者が少なければニーズがないということで、打ち切りなりしていただいても良いのですが、折角実施しているのに実績がない理由としてはタクシー代ではないかと思っておりますので検討をお願いいたします。</p>
事務局	<p>加古川市の制度については存じ上げておりませんが、近隣市町のサービスの内容などを研究いたしまして、制度の充実と見直しを図ってまいりたいと思います。</p>
委員	<p>委員はニーズが無ければ打ち切り、とおっしゃっていましたが、母親としましては実際には、今日はたまたま送って行けたということなので、いざとなったら使えるということが需要だと思うのです。ですから実績が例えゼロであっても、是非残していただきたい。そしてタクシー代の方も考えていただきたいと思っております。心の安心感が違うと思っておりますので、是非残していただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>現在の送迎サービスについてはこのまま継続しまして、その上で研究させていただき、検討していきたいと考えます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>引き続き、議題(2)の方に行きたいのですけれども、その他でございます。何かご</p>

<p>委員</p>	<p>ございますでしょうか。</p> <p>(2) その他</p> <p>新型コロナウイルスに関してですけれども、色々な委員の方からありましたが、お年寄りがかかると重症化する、一方子どもに関しては殆ど普通の風邪と変わらないということが分かってきました。新型コロナウイルス対策として子ども達、園とか学校に消毒薬とかマスク、職員の分も含めて市から配布されていると思うのが、「ウィズ コロナ」と言われておりますので、これからもいくつかの波を繰り返すのではないかと。医師会の方でもやっと今週末頃に、高砂・加古川地域、保健所の検査だけでPCR検査ができなかったのですけれども、両医師会の協力の下、PCRセンターの設立が決まりました。ということは、他市と同じように検査を希望する人が増えてくる、希望する人が増えてくるとやはり見つかる人も増えてくる。数が増えてくれども子どもに関してはあまりリスクがない。もし他市で起こっているように、保育園や学校で大きな流行があった時に、病気が心配というよりも誹謗中傷によって不登校になったり、強く悩んだり、心のケアに対するサイトが市の方であれば非常に安心かと思えます。ないようでしたら、是非相談先が分かるような窓口もコロナ対策として設置しておいていただけたらな、と希望しております。これからの流行に備えて考えていただけたらと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>新型コロナウイルスに関しまして感染拡大ということで、昨年度末から感染者が増えてくる中で、本市におきましても各部署において相談窓口を設けております。これは誹謗中傷の相談窓口というよりも全体的な相談窓口としております。ただ、感染が拡大する中で誹謗中傷ですとか、高砂市はまだ少ないこともありまして各学校、園というところでそういったケースはまだありませんが、今後そうしたこともあり得るということで、各園又は各事業所で誹謗中傷でありますとか相談については通知を行っているところです。また、学童保育所についても、対応については十分注意するようお知らせをさせていただいております。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校につきましても、既に新型コロナウイルス感染症に関わる対応ということで、通知を出しまして、誹謗中傷は絶対に許さない、更に平素からの人権教育についても行いまして、コロナだけではないのですけれども謂れのない、根拠のない差別はしてはならないと指導しております。</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。新型コロナウイルスの予防対策については学校等でいただいているということで、引き続きお願いしたいことと、今後何が起こるか分からない状況ですから、子どもも就寝時刻が遅れ、朝起きられず引きこもりの人が増えているという報道も聞いております。高砂市の子ども達がどのように生活しているのか、アンテナを高くしながら見ていきたいと思います。どうぞ皆さま、その辺をよく見ていただいて、実態をご報告いただきたいと思います。</p> <p>続きまして、次回の第1回子ども・子育て部会と若者部会の日程について、事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【 事務局より第1回子ども・子育て部会と若者部会の日程について説明 】</p>
<p>委員長</p>	<p>議題は以上でございますが、他にご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは以上を持ちまして、令和2年度第1回高砂市子ども・子育て・若者会議を終了します。本日はありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員長並びに委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。これにて、子ども・子育て・若者会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>